

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム 平成 29 年度第 2 回企画運営委員会議事録

1. 開催日時

平成 29 年 11 月 08 日 (水) 10:00～12:00

2. 開催場所

熊本県庁新館 2 階 201 会議室

3. 開会あいさつ

滝川委員長より、平成 28 年に八代市で開催されたアマモサミットの流れから本フォーラムの立ち上げ準備を開始した経緯が説明され、来月 12 月 1 日の設立総会に向けてさらなる協力をお願いしたいと挨拶があった。またフォーラムのリーフレットを製作し、有明海八代海再生をイメージしたロゴを考案・作成した旨が報告された。

4. 議事次第

《了承事項》

(1) 企画運営委員委嘱の件

《審議事項》

(1) 設立総会議題内容について

(2) 平成 29 年度活動計画 (予算変更) について

《報告事項》

(1) プロジェクトチーム活動報告について

① 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム

② 活動 PR 戦略プロジェクトチーム

(2) 会員の登録状況について

その他

(1) ホームページ案内と会員募集及び総会に向けた会員参加案内について

(2) その他

資料：熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム平成 29 年度第 2 回企画運営委員会会議資料

5. 出席者

(委員等) 滝川委員、上久保委員、園田代理、後藤代理、河邊代理、橋本委員、山下代理、梅本代理、武宮委員、竹見委員、渡邊代理、舛元委員、佐藤委員、舛本委員、山下代理、川岸委員

(オブザーバー) 鳩野氏、藤山氏、長岡氏、山本氏

(随行者等) 森田氏、古閑氏、本村氏、高田氏、篠崎氏、中川氏、田村氏

(準備会事務局) 岩井、城戸、高木、中田、西本、上野、浪崎

6. 議事

《了承事項》

(1) 企画運営委員委嘱の件

・荒尾市市民環境部環境保全課長 渡辺 武様から新規委員就任の申し出があり、承認された。代理出席の農林水産課渡邊宏様からご挨拶いただいた。

《審議事項》

(1) 設立総会議題内容について

○事務局の高木氏より、12/1 の設立総会の議事次第について説明があり、承認された（別紙 P5 参照）。以下の報告・提案・質疑があった。

・熊本県環境立県推進課の橋本氏より、県の議会中のため知事・副知事の出席は都合が合わず、環境生活部長が出席する旨が報告された。また企画運営委員の国機関（九州地方環境事務所、国土交通省九州地方整備局）にも挨拶をお願いしたいと提案があり、検討されることとなった。

・滝川委員長より総会の議事次第に「顧問委嘱の承認」とあるが監事の承認は必要ないかと質問があり、事務局高木氏より表現を改めると回答があった。流れとしては、監事は議長とともに総会で選出・承認され、その後議長が顧問を委嘱する流れである旨が説明された。

(2) 平成 29 年度活動計画（予算変更）について

○事務局の高木氏より、以下 2 点予算修正の提案があり、承認された（資料 P7 参照）。

・支出の部にフォーラム総会費 34 万円（内訳：講演者・顧問 2 名の総会出席時交通費 20 万円・会場借り上げ費用 14 万円）、PT 活動費 14 万円（リーフレット印刷費）を追加計上した。

《報告事項》

(1) プロジェクトチーム活動報告について

① 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム

○PT 長の川岸氏より、活動状況が報告され、以下の質問・追加報告があった（資料 P8～11 参照）。

・滝川委員長より 12 月の第 1 回の PT 会議のメンバーについて質問があり、川岸 PT 長より熊本県および氷川町等の市町村に入っただき、地元からの問題点のヒアリングを目的として開催する予定である旨が報告された。

・川岸 PT 長より、別事業ではあるが 11/29 に環境省閉鎖性海域対策室担当者および有明海・八代海等再生対策検討委員会のメンバーが熊本港および八代海湾奥等を視察予定であり、当日、熊本県から「熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムの取り組み状況」について説明がなされることが報告され、今後とも連携を図る旨が追加報告された。

② 活動 PR 戦略プロジェクトチーム

○PT 長の上久保氏より活動状況が報告され、以下の追加報告があった（資料 P12 参照）。

・滝川委員長より、HP を開設し最新情報を発信できるようになったこと、リーフレットにあるQRコードからHPに移動すること、HPへの意見を皆様から受け付けている旨が追加報告された。

・上久保PT長より、リーフレットの修正意見は明日（11月9日）までとすることで出席者に依頼があった。

(2) 会員の登録状況について

○事務局の高木氏より、以下のように報告された。

・2017年11月7日現在、個人会員が18名、団体会員が20団体（内訳：国4、県3、市町村2、公益財団法人4、民間3、試験研究機関4団体）

・滝川委員長より、今後継続して、積極的に入会の呼びかけをと提案があった。

3.その他

(1) ホームページ案内と会員募集及び総会に向けた会員参加案内について事務局の西本氏より、ホームページを暫定版として公開したこと、今後リーフレットに掲載したロゴ等を追加掲載予定であることについて報告があった。また、その他HPへの要望については事務局まで連絡することで依頼があった。

・事務局の高木氏より、企画運営委員会の随行員の方も、個人会員入会の依頼があった。

・事務局の高木氏より、設立総会では、フォーラム活動の理解を広めるためにも、会員以外の一般にも参加を呼びかける提案があり、委員会出席者から関係者及び知人に参加案内を行うこととなった。総会の案内文は後日事務局から連絡予定。

以上